



▲敬老祝品として花と菓子を贈りました

野の草花も元気を取り戻し、朝晩の空気が少しずつ変化してきました。四季のある国に生まれた幸せを、今年は例年以上に感じる「秋の訪れ」です。過ごしやすくなりましたね。

◆播磨南中学校の3年生、西森龍馬君が快挙です。8月22日愛知県で開催された第40回全日本中学校陸上競技選手権大会「男子110メートルハードル」で優勝しました。毎年、素晴らしい選手を輩出している南中陸上部ですが、今年はさらに輝かしい成績を残しました。本人の実力はもちろんですが、ご家族、指導者、友人などまわりの応援があってこそその結果だと思います。東京オリンピックを目指して、新たな記録に挑戦して欲しいと思います。おめでとう!

◆播磨町の大中遺跡にある県立考古博物館で活躍されている「ひょうご考古楽倶楽部」が創立10周年を迎えました。博物館のオープンが6年前ですが、それに先立ち結成され、来館者への実技指導や開催イベントのボランティアスタッフなど博物館になくてはならない存在となっています。このたび、10周年を記念して「トークショー 播磨の国風土記」を開催。倶楽部員の研究発表や紙芝居、石野館長や藤田課長の講演など、わかりやすく楽しい解説で「播磨国風土記」がグッと親しみやすく感じられた有意義な会でした。考古楽者の皆様には、これからもお元気でいっそうのご活躍を。

◆9月は敬老月間です。長寿祝金や敬老祝品を町よりお届けしています。その中でも90歳以上の方(約330人)にお送りしているのが「プリザーブドフラワー」と「カステラ」のセットです。お花は生のお花を加工したのですが、水遣りなど必要なく、何年たってもそのままの美しさを保ちます。毎年届くお花をお部屋に飾って楽しんで下さいね。

播磨町長 清水ひろ子



平和上映会

企画グループ ☎079(435)0356

7月26日中央公民館、7月28日には図書館視聴覚室で、「平和上映会」を開催しました。中央公民館では、町内中学1年生と住民の方が、図書館では親子連れの方があわせて約400人が参加し、映画「はだしのゲン」を鑑賞しました。戦時中の混乱のなかでも、家族がそろっていた幸せな時間から原爆投下、その後の様子がよくわかり、時折涙ぐみながら熱心に鑑賞する人が多かった様子です。



この映画鑑賞により、戦争の恐ろしさや悲惨さ、命の尊さなど、平和について今一度考えるきっかけになったと思います。

●平和展 7月27日から8月4日まで図書館にて、関連図書の展示と市民が描いた原爆の絵の展示しました。同じく、8月6日から18日には、中央公民館で広島・長崎の原爆についての写真やポスターなど、広島平和記念資料館からお借りした貴重な資料を展示しました。「当時を思い出し、涙がでた」「核兵器がなくなるまで、いつまでも続けてほしい」との感想も寄せられました。

第7回 日本文化のつどい開催

県立播磨南高等学校 ☎078(944)1157



8月21日に子・父母・祖父母の3世代が日本文化を通じて交流する日本文化のつどいを開催し、300人を超える来場者でにぎわいました。第1部では、吹奏楽、カルタ、フォークダンス、第2部では、折り紙、ポストカード、変身ゴマづくりのワークショップ、お茶席、第3部は、とおりゃんせ、総踊りと盛りだくさんの3時間でした。特に今年初実施のフォークダンスでは、最初戸惑っていた小学生がだんだん身を乗り出し、ついには大人の輪に入って一緒に踊るといふ心温まる場面がありました。年に一度このような機会があることを大変うれしく思います。

楽屋裏

7月24日に予定されていたサマーフェスティバルが、雨のために翌日に順延となりましたが、翌25日も会場の状態が悪く、やむを得ず中止となりました。サマーフェスティバルは、平成23年にも多くの人でにぎわっている会場で、突然の大雨が振り出し、途中中止となっています。また、9月4日には大雨が降り、町内でも道路の冠水で通行ができなくなった箇所がありました。古田や古宮などでは、床上または床下浸水の被害にあった住宅がありました。災害について、日ごろから家族で話しあっておきたいと改めて思います。(宮)

地震や火災、津波について学ぶ ～子ども防災体験キャンプ～

生涯学習グループ ☎079(435)0565

7月24日から25日にかけて、「子ども防災体験キャンプ」を中央公民館を拠点に実施しました。今回は、町内の小学校の5、6年生24人が参加。災害時に役立つ知識をいろいろな体験を通して学びました。

1日目の午前中は、ダンボールで家作り。食事は、アルファ米をはじめとした非常食。午後からは、古宮漁港の防潮ゲート見学、土のう作り体験、プールでの着衣泳訓練。夜にはAEDによる心肺蘇生法の学習。命の大切さを真剣に考えました。そして、自分たちで作ったダンボールの家に泊まりました。

2日目は、ひめじ防災プラザと淡路の福良港津波防災ステーションに行き、地震や火災、津波について学びました。

猛暑の中でしたが、子どもたちは一生懸命取り組み、充実した2日間を過ごしました。



山元町からの手紙

今月は山元町の沿岸部にある旧中浜小学校を紹介します。震災時、旧中浜小学校には2階の天井部分にとどく程の高さの津波が押し寄せました。しかし、屋根裏部屋に避難した児童や教職員約90人は、奇跡的に全員が助かりました。

今年3月31日に閉校した校舎は、震災の記憶を後世に伝承していくための震災遺構として、保存していく計画となっています。震災から2年半



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されています

たっても、破れた窓ガラスや波打つ床など震災の傷跡が色濃く残る、町内で唯一あの日のままの場所です。

廣岡千春

播磨南中学校陸上部 全国大会出場

企画グループ ☎079(435)0356



愛知県で開催される第40回全日本中学校陸上競技選手権大会への出場が決まった播磨南中学校陸上部3年生の3人の選手が、町長を表敬訪問しました。

3人の選手は、「表彰台を目指して頑張りたい」と抱負を語ってくれました。町長からは、「全国優勝、そして世界を目指して頑張ってください」と激励しました。

- 天野 大輝君 砲丸投
- 西森 龍馬君 110mハードル
- 奥山 裕紀君 4種競技(110mハードル・砲丸投・走高跳・400m)

※8月22日の全国大会で、西森龍馬君が優勝を飾りました。優勝おめでとうございます!



おおくほひさなり あつひと
大久保 尚成くん、篤人くん
(南大中)

兄弟仲良く元気に♪
(父・母より)

※撮影時(平成25年1月)の年齢です。